



衆議院議員 河井克行事務所
自由民主党広島県第三選挙区支部

国会事務所
TEL 03-3508-7518
FAX 03-3508-3948

広島事務所
TEL 082-832-7301
FAX 082-878-3301

ブログ「あらいぐまのつぶやき」
<http://ameblo.jp/katsuyuki-kawai/>

第15回 ゆめづくりフォーラム in TOKYO を開催

4月24日(水)、ルポール麹町において、毎年恒例の「ゆめづくりフォーラムin TOKYO」が開かれ、河井克行代議士と親交のある国会議員や経済人らが大量ご来場。基調講演は安倍内閣の大黒柱である菅義偉・内閣官房長官が行い、衆議院議員初当選同期である河井克行代議士への期待が熱っぽく語られました。河井克行代議士は「沖縄の基地問題の解決なくして、日米同盟の建て直し、日本の外交・安全保障の建て直しはできない」「恩師・橋本龍太郎元総理が生きて見ること



菅義偉・内閣官房長官

ができなかった普天間飛行場の返還を菅官房長官を支えてぜひとも成し遂げたい」と強い決意を述べました。



鳩山邦夫・元総務大臣



石破茂・党幹事長



松野頼久・日本維新の会
国会議員団幹事長

みたび よたび 三度、四度、沖縄県に出張 「沖縄の声」にじっくりと耳を傾ける

河井克行衆議院外務委員長は、3月30日～4月2日、4月22日～24日、相次いで沖縄県を訪れました。これで外務委員長選任後、四度も沖縄に出かけたことになります。米海兵隊普天間飛行場移設など沖縄を取り巻く諸問題について、政界、経済界、言論・メディア界など現地の意見にじっくりと耳を傾けました。河井克行委員長の熱意あふれる沖縄入りは地元紙で取り上げられ、注目を浴びています。

参院選と移設先 選ぶなら辺野古
自民・河井氏が認識
【東京】自民党の河井克行衆議院外務委員長は24日、支持者や国会議員らを抱いた集会であいさつし、米軍普天間飛行場の移設をめぐる自民本部と県連の方針が異なっている現状を踏まえ、「参院選の1議席を失うか、あるいは普天間の辺野古移設を必ず成し遂げて危険性を除去するか、どちらを選ぶのか」と言われると、私は迷うことなく普天間の全面返還をすべきだと確信している」と述べた。

河井氏は「参院選で政権と自民本部と地元沖縄県連が揺るぎのない一体感をつくり、県民、日本国民、返還に合意してくれた米国民それぞれに対して誠実であらねばならない」と述べ、「県外移設」を掲げる県連が、名護市辺野古への移設を自指す政権や党と同じ方針を取るべきだとの認識を示した。

4月25日付『沖縄タイムス』



長濱文子・元沖縄県商工会議所
連合会女性会長



橋本龍太郎元総理の
沖縄後援会長を務めた
嶺井政治・元沖縄電力会長



儀武剛・金武町長、
伊集盛久・東村長、
志喜屋文康・
恩納村長との夕食会

沖縄の世論探る「密使」

同業員と沖縄

普天間返還の行方

第1部 見切り発車

今年3日、沖縄に降り立った普天間飛行場の首元には、沖縄市の国指定伝統工芸品「知花花織」の紫がかったネクタイが締められていた。糸満市の平和の礎を訪れる

パイプづくり

る際、黒のネクタイに替えるよう助言した事務方の勧めに、「このままで」と通した。沖縄に対する思いを自分なりに表したい菅氏のこだわりだった。

表情も口調も常に淡々とした菅氏が、沖縄に配慮を示し信頼関係を築きたい姿勢を見せながら、米軍普天間飛行場を名護市辺野古に移設する日米合意を着実に進めたい思いは強い。

その思いが垣間見えたのはことし3月、仲井真弘多知事が要望していた国と県でつくる沖縄政策協議会の開催時だった。

従来の「基地負担軽減」と「沖縄振興」の両面を統合した小委員会新設の狙いを、記者会見で問われた菅氏は「振興と基地負担軽減は別」というのは、ある意味では建前論ではないか、沖縄の皆さんにとっては、一体のもの」と説明。

民主党政権が慎重に回避してきた「リンク論」を隠さず、振興策の投入と引き換えに基地問題解決に向け前進させる、という手段があるとの心理を表面化させた。

菅氏の周辺には、独自に沖縄の世論や状況を探る人物がいる。ことし2月以降、3度沖縄に入り、首長や経済界、地元メディア関係者と懇談。辺野古移設の容認派と接し、否定的な防衛省や与党国会議員とは対照的に「むしろ辺野古移設の反対意見も聞きたい」と、翁長雄志那覇市長や大田昌秀元知事らとも面会した。沖縄での「定点観測」の情報を週に1度は首相官邸などで会う菅氏に伝えている。

ただ、河井氏と沖縄で会談した1人は「非公式にでも沖縄とパイプをつくらたい」という姿勢には敬意を表す」としつつ、河井・菅両氏が師とする橋本元首相と梶山静六元官房長官が知事、副知事とそれぞれ独自のホットラインを築いていた時代と比較し、冷静な見方も示した。「逆に言えば、今は沖縄と政府が最終的に政策を詰める環境や関係性がないことの象徴だ」

（普天間）取材班・比屋根麻里乃、銘切一穂

4月13日付『沖縄タイムス』

外国議会・政府要人、 国際機関代表らと会談

河井克行衆議院外務委員長は日本を訪れる外国や国際機関の要人ならびに駐日各国大使らと精力的に会談を行っています。日本の外交・安全保障政策を説明する一方、国際情勢やそれぞれの国・地域を取り巻く諸課題について有意義な意見交換をしています。



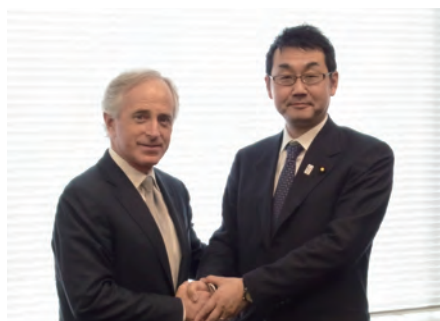
アウン・サン・スー・チー・ミャンマー国民民主連盟議長
(4月18日)



ラスムセン・NATO事務総長とは、1月に安倍首相の
親書を手渡して以来の再会(4月13日)



クルシード・インド外務大臣、
国家基本問題研究所・
櫻井よしこ理事長(3月27日)



コーカー・米国連邦議会
上院外交委員会筆頭理事
(3月26日)



ポルタス・ポルトガル
共和国外務大臣(3月27日)



ブローク・EU議会外務委員長とは
1月にもストラスブールのEU議会で
会談(3月27日)



マミ・カザフスタン上院議長
(4月18日)



アフアナシエフ・
駐日ロシア連邦大使(4月9日)

党TPP対策委員会の役員に選任 中国ブロックを代表して「主幹」に

3月5日、河井克行代議士は中国地方選出の自民党国会議員を代表する形で、党TPP対策委員会の「主幹」に選任されました。今後、農業をはじめとするTPP（環太平洋連携協定）への交渉参加に不安を抱く中国地方のさまざまな関係団体の要望を党本部に橋渡しする役割を担うことになります。



安倍総理のTPP交渉参加正式表明の会見（3月15日）

矢口川洪水対策事業が 国土交通省新規事業に採択へ

平成22年7月豪雨により、太田川の矢口川水門からJR安芸矢口駅付近にいたる約4ヘクタールで床上浸水18戸、床下浸水12戸の浸水被害が発生しました。平成24年7月には、国土交通省、広島県、広島市により「矢口川総合内水対策計画」が策定。これに基づき、排水機場の整備などを国が今年度新規着手することになりました。地元からの要望を受け、河井克行代議士が国に強く働きかけていた案件です。この事業が完成すると、年超過確率1/10



4月17日付『中国新聞』

の洪水が発生した場合でも、家屋の浸水被害を防止することができます。期間は五年程度が見込まれます。